

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

計画の名称	成田市における公共下水道整備（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	成田市												
計画の目標	公共下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。また、印旛沼をはじめとする公共用水域の水質保全に寄与する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	110	A	110	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	下水道処理人口普及率を、76.1%（H30.4）～77.9%（H35.3）へ増加させる。			
	下水道処理人口普及率	76%	77%	78%
	下水道を利用できる人口（人）/行政人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

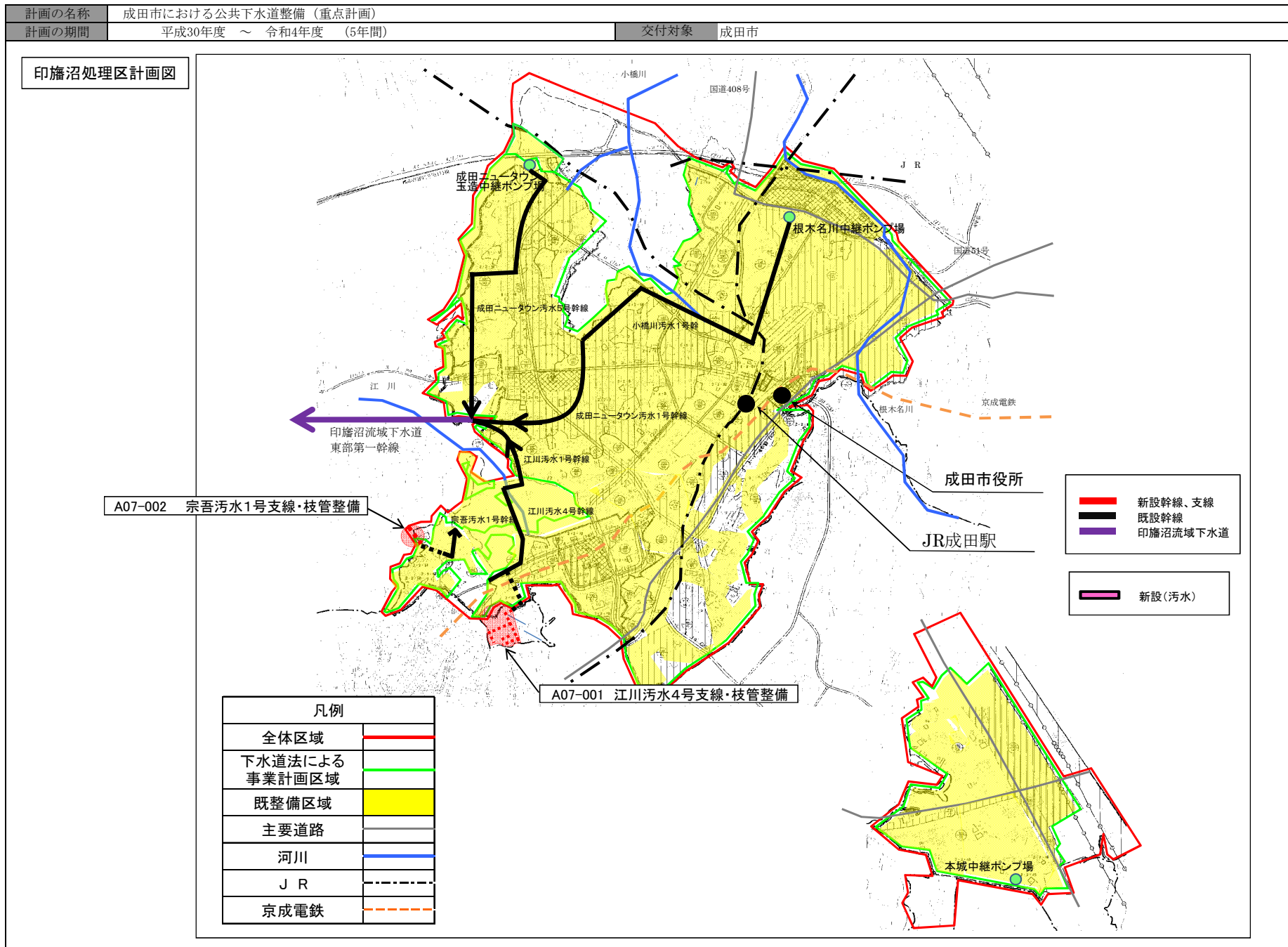
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	成田市	直接	成田市	管渠(汚水)	新設	江川汚水4号支線・枝管整備	L=1.2km、A=3.7ha	成田市						100	-	
	A07-002	下水道	一般	成田市	直接	成田市	管渠(汚水)	新設	宗吾汚水1号支線・枝管整備	L=0.2km、A=1.2ha	成田市						10	-	
												小計						110	
												合計						110	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	12	6	6	8	28
計画別流用増 減額 (b)	0	0	1	0	6
交付額 (c=a+b)	12	6	5	8	22
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	12	6	5	8	19
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	3
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	13.63
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					契約価格が予定を下回ったため。

(参考図面) 社会資本総合整備計画



事前評価チェックシート

計画の名称： 成田市における公共下水道整備（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 東京湾流域別下水道整備総合計画・千葉県全域域汚水適正処理構想・印旛沼流域下水道事業全体計画と整合している。	○
I. 目標の妥当性 水質汚濁防止の主となる対策として、下水道事業を推進している。	○
II. 計画の効果・効率性 「計画の目標」と「計画の成果目標（定量的指標）」が一致している。	○
II. 計画の効果・効率性 「計画の成果目標（定量的指標）」が広く一般的な用語を用いている。	○
II. 計画の効果・効率性 「計画の目標」と「交付対象事業」の目的が一致している。	○
II. 計画の効果・効率性 「交付対象事業」と「効果促進事業」が一体となる事業でかつ、関連効果がある。	○
III. 計画の実現可能性 計画内容に関し、近隣住民に対する事前説明が行われ理解を得ている。	○
III. 計画の実現可能性 公共下水道整備に対する住民の理解及び協力が得られている。	○